

## 平成30年度 第2回宮代町食と農の研究会 会議録(要旨)

- 開催日時 平成31年2月14日(木)午後2時00分～4時10分
- 場 所 新しい村 村の集会所
- 出席者 <委員> 蛭田委員、島村委員、金子委員、湯浅委員、武笠委員、須藤委員、赤井委員、  
大門委員、北村委員、関永委員、殿塚委員、新井委員、小豆澤委員、長堀委員
- <アドバイザー> 山本氏、石井氏
- <事務局> 菅原主幹、鈴木主査、中村主任  
健康増進室 竹花室長
- 傍聴者 0名

### ■次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議内容
  - (1)平成30年度6次化推進事業報告について
    - ①6次化推進イベント「世界のすうぷ屋さん in Miyashiro」の実施
    - ②みやしろの郷土料理教室の実施
    - ③郷土料理と紫野菜のレシピ紹介冊子「宮代ふるさとレシピ10品」の刊行
    - ④きゅうりのつくだ煮の商品化の検討
    - ⑤地産地消推進の店の認定事業実施要綱の制定
  - (2)「モノづくりの考え方セミナー」  
講師:アドバイザー 山本洋子氏
  - (3) 今後の研究会活動について
  - (4) その他
- 4 次回の会議日程について
- 5 閉 会

### ■ 会議内容

#### (1)平成30年度6次化推進事業報告について

- ①6次化推進イベント「世界のすうぷ屋さん in Miyashiro」の実施  
事務局から配布資料1に基づき説明したほか、すうぷ屋さん実行委員である委員から補足あり。

世界のすうぷ屋さんでは皆様にご協力いただき、ありがとうございました。皆様に楽しんでいただけるイベントとなった。今回のイベントの目的は野菜の消費拡大と新しい村のマーケティングリサーチ、紫野菜を町の象徴野菜とするためのPRの3つを掲げていたが、その成果としてあぐりねっとみやしろと協力してスープが販売できたこと、商店からはプロである私たちにこの野菜をどうしたらいいか、もっと相談して欲しいという意見もあり、今後につながる様々なことを得ることができた。課題と反省点を今後活かして、改善していきたいと実行委員長も言っている。この後も引き続き、世界のすうぷ屋さんに取り組みたいと思っている。

② みやしろの郷土料理教室の実施

事務局から配布資料1に基づいて説明。

③郷土料理と紫野菜のレシピ紹介冊子「宮代ふるさとレシピ10品」の刊行

事務局から配布資料1に基づいて説明、監修者小松美貴子氏からの感想の紹介。

④きゅうりのつくだ煮の商品化の検討

事務局から配布資料1に基づいて説明。

委員から補足あり

小松さんが尽力したレシピのつくだ煮を、きゅうりがたくさんできる7月ころに商品化していきたい。てんさい糖、丸大豆醤油などの調味料を使って原価計算を行い、価格を決定する。惣菜として販売するほか、おにぎりのつけ合せや村弁のおかずとしても考えていきたい。

⑤地産地消推進の店の認定事業実施要綱の制定

事務局から配布資料2、3に基づいて説明。

⑥その他

県から「商品パッケージデザイン研修会」について説明。

(意見等) 特になし

(2) 「モノづくりの考え方セミナー 宮代町の宝をリアル宝に！」

講師:アドバイザー 山本洋子氏

SNSを使って積極的に情報発信していくことや、おいしい以上の価値を伝えるために印象に残る写真や言葉が重要、などご経験の中で培われた様々な商品の魅力向上のためのヒントをお聞きした。

(3) 今後の研究会活動について

今後の研究会活動を考えていく上で、委員それぞれがどのような取り組みをしているか報告いただく。

委員: ハウスでトマトときゅうりを作っている。お話は勉強になった。宣伝を兼ねてシールを貼っているが、味にこだわり作っていて伝わっていると思う。両親が高齢で引退し、若くても手が足りない状態。加工で餅を作っていて、特別栽培米を使いつて差別化をしている。好評で毎年安定して売り上げている。もちは10年前に始めたが5年位前からふるさと納税で餅を出している。できる範囲で野菜も手伝いながら6次化も進めていきたいと思っている。

委員: 飲食店の会社を経営している。4年前に妻と越谷で最初の店を出店し、2年前に縁あって宮代にきた。新しい村の工房で、パンで参入して1年経ち、スタッフも充実してきた。新しい村は、加工所とアグリ生産と直売所がうまく機能していないと思うので、機能させるために、アグリ生産と相談して米粉パンをやり始めた。この会は私個人としては期待するのは、新しい村を何とかしないことにはこの町の復興はないと思っている。6次化が行われていないことに違和感があるので、この会でうまくやっていければと思っている。

(4) その他 意見交換なし

■次回の会議日程

平成31年度第1回は年度明け、5月ころに開催予定。

副会長あいさつ

終了